



発行日/2022年12月24日

編集・発行/堺市立健康福祉プラザ

視覚・聴覚障害者センター

聴覚障害者情報提供施設

〒590-0808 堺区旭ヶ丘中町4-3-1

Tel:072-275-5024 Fax:072-243-2222

Mail:mimi@sakai-kfp.info

みみより

64

鬼頭 高士

ごあいさつ

秋もあっという間に過ぎ、一段と冷え込む季節になってきました。早いもので、もうすぐ年が明けてしまいそうです。

ところで、今、手話のドラマが人気になっていますね。また、1月から新たに手話が出てくるドラマが公開されるらしく、手話ブームが到来しそうな勢いです。手話・要約筆記受講生も増えていくのではないかと楽しみにしています。毎回、ドラマを観ながら色々な意味でモヤモヤしています。わたしが若かりし頃に大人気だった某手話ドラマも改めて観ましたが、モヤモヤしませんでした。そんなドラマを観て手話にハマった方々も、今では通訳者として、バリバリ活躍しておられることを考えると、今回のドラマで手話にハマるかもしれない方々を温かくお迎えしたいなと思っている次第です。

コロナも終息しないまま新しい年を迎えそうですが、引き続き用心しながらも楽しい生活を送っていきましょう！



開催事業報告



《みみサロン》

今年度4回目の「みみサロン」は、「SDG sについて、みんなで話合ってみよう！」をテーマに11月19日(土)に開催しました。「私たちもSDG sの取り組みに参加する必要があるのか?」、「誰がするのか?」、「マークをバッチで見たことがある」など、様々なことが話題になりました。「SDG s」は、2015年9月、国連サミット会議(開催地:ニューヨークの国連本部)で採決されました。その内容は、「すべての人と地球のためにより良い世界をつくることをめざし、国際連合加盟国すべてが2030年までに持続可能な開発目標の17個の目標を達成するために最善を尽くすこと」というものです。



さて、国連広報センターが日本語版で、「ゴー・ゴールズ!」のすごろくゲームを製作されました(写真)。このすごろくゲームは、子どもから大人まで、わかりやすく学べる教材ものです。17個のカラーの枠に入るとクイズ方式で学習できるようになっています。例えば、目標5の「ジェンダー平等を実現しよう」の問題については、「家で料理と掃除をすべきなのは誰ですか?」という質問があり、(a)男性・(b)女性・(c)みんな誰でも3つが解答の選択肢です。正しいのはどれでしょう? 実は(c)なのですが、この解答を受けて「皆さんの家庭ではどうでしょうか?」、「他の国ではどうでしょうか?」など、いろいろ話し合いながら考えていくゲームでした。

の家庭ではどうでしょうか?」、「他の国ではどうでしょうか?」など、いろいろ話し合いながら考えていくゲームでした。

これをきっかけに、私たちは世界の諸問題の原因と解決方法について、十分に情報を得て、家族や友人などと語り合ったり、政府に対し、私たちの声に耳を傾けるように働きかけたりしたいですね。日々の生活においても、小さなプラスのできる行動を起こしましょう。参加の皆さんも「勉強になった」、「すごろくが面白かった」など、和気あいあいと楽しみながら学習できたサロンでした。

《堺市手話言語・障害者のコミュニケーション条例普及イベント:みる・きく・感じるコミュニケーション》

11月26日(土)、手話をはじめとする様々な言語の普及と障害理解を目的として上映会を開催し、39名の方にご参加いただきました。今回、取り上げたのは「聲(こえ)の形」。気持ちをうまく伝えることができずに聞こえない同級生をいじめてしまった少年が、自分自身も傷つき、けれども、同級生との再会を契機に周囲との関係を取り戻していくというお話です。聞こえない人たちが経験する「ディスコミュニケーション(意思疎通がうまくできない状態)」をたくさんの方に知っていただく契機になれば、との思いでこの作品を選びました。字幕表示はもちろん、生の音声解説も付け、聞こえない人、見えない人も一緒に楽しんでいただくことができました。



参加された方からも「手話について考える機会になった」、「字幕や音声解説付きで違和感なく観られた」等の感想をいただきました。聞こえない方々の暮らし、コミュニケーションについての理解が広がり、誰もが安心して暮らせるまちをめざして。これからも「みる・きく・感じるコミュニケーション」の普及を図っていきましょう。

《障害者週間フェスティバル》

12月3日～9日は「障害者週間」。堺市立健康福祉プラザでもイベントが開催されました。12月3日(土)には、体育室で聴覚障害者に向けたブースも開かれ、木本昌美さんによるパステルアート展や日常の音を認識し、通知してくれるアプリなどの体験ができました。大勢の方がお越しになられ、色鮮やかで素敵なアートを鑑賞され、ご本人との交流も楽しまれていました。



また、アプリ体験では、開発された企業の方から丁寧な紹介を受け、実際に体験された方は便利な機能に驚かれていました。コロナ禍の中、これまで自粛傾向のイベントでしたが、今回は飲食の販売やイートコーナーもあり、昨年比で多くの方が来場され、イベントを楽しまれ、大いに盛り上がりました。来年にはコロナが終息し、以前のようなイベントができることを願っています。

《もじサロン(筆談会)》



11月10日(木)の筆談会には参加者がおられませんでした。12月15日(木)には、要約筆記を活用しての「わいわいおしゃべり会」を開催しました。参加は少なかったのですが、その分、じっくりお話ができました。難聴の方々にとって、コロナ禍ではコミュニケーションがますます取りにくくなっています。同じ立場、同じ経験をした方同士、気兼ねなくおしゃべりできる場を作れたらと思っています。

今後の筆談会は1月12日(木)・2月16日(木)・3月16日(木)、午後2時から4時に開催予定です。参加者がおひとりでも開催しますので、どうぞご参加ください。

バリアフリー観劇・鑑賞サポート窓口

観たいお芝居や映画、聞こえないからとあきらめていませんか？ 芸術や文化活動への参加・鑑賞は、人の暮らしを豊かにするもの。聞こえる家族や友人と一緒に、聞こえないなかまと一緒に楽しみたいものです。けれど、邦画の字幕付き上映は日時や会場が限られ、字幕や手話通訳付きの観劇もほとんどありません。

「舞台に字幕を付けてもらいたいけれど、どうすればいい？」、「字幕付きの映画はどこで上映されている？」、そんな相談や情報発信をしているのが Palabra(パラブラ)株式会社の「UDCast(ユードーキャスト)サポートセンター」です。これは、文化庁の委託事業「令和4年度障害者等による文化芸術活動推進事業 障害者等による文化芸術活動の推進に向けた課題解決プロジェクト」の一環です。文化芸術のバリアフリー対応の相談窓口として、8月に大阪オフィスがオープンしました。

UDCastは、スマートフォンやタブレット、メガネ型端末を使って、字幕や手話映像、視覚障害の方々への「音声解説」を流すアプリです。映画館で流れる音声スマートフォン等に入り、それに合わせて字幕等が流れるので、映画とずれることはありません。Palabra株式会社も「ケイコ目を澄ませて」などの字幕制作をしています。また、シネ・リーブル梅田での字幕表示用タブレットの貸出や利用支援も行っていますので、お気軽にご相談ください。



UDCast サポートセンター「文化芸術全般の鑑賞サポート相談窓口」

電話：0120-291-088（平日 10時～17時）

FAX：03-5937-2233

メール：support@udcast.net

観劇・映画鑑賞等での
困りごと、どうぞお気軽
にご相談ください。



ウェブサイトからのご相談



LINEからのご相談



ビデオライブラリー・自主制作動画

視覚・聴覚障害者センターでは、情報取得にあたって手話や文字でのサポートが必要な方を対象に字幕入りDVDの貸出や、手話・字幕付の動画制作をしています。映画やドラマ、教育番組など、さまざまなジャンルのDVDが無料で借りられます。冬休み、ほっと一息つく時間にぜひご利用ください。

また、センターのホームページには、ほっこりと楽しんでいただける「手話での絵本の読み聞かせ」のほか、市政情報をお伝えする「目で見える広報」、センター事業紹介の「目で見える注目情報」などの動画を掲載しています。手話初心者の方、周囲の方に手話を紹介したい方は、「市民向け手話動画」をぜひご覧ください。

目で見える広報 ▶ すべて再生



手話を覚えよう ▶ すべて再生



手話奉仕員・通訳者養成講座

楽しみつつ継続しましょう

市民向け手話講座は、12月から交流会をしています。覚えた手話を使って、聞こえない方と話をする楽しさを感じていただきたいです。一方、通訳者養成講座では、堺市の登録試験である「手話通訳者全国統一試験」に13名の方がチャレンジしました。

要約筆記者養成講座

合格祈願！

講座も残すところ、試験対策と、修了式のみとなりました。

2月の登録試験で全員が合格し、要約筆記者としてご活躍できることを祈っています！

センターの行事



- 1月12日(木) 14:00~16:00
もじサロン(筆談会) ※要事前申込
- 1月13日(金) 13:30~16:30
補聴器相談 ※要事前予約
- 1月21日(土) 14:00~16:00
みみサロン ※要事前申込
「新型コロナウイルスに感染して」
- 1月28日(土) 14:00~16:00
保護者学習会
「体験談」 ※要事前申込
- 2月10日(金) 13:30~16:30
補聴器相談 ※要事前予約
- 2月25日(土) 14:00~16:00
聞こえのセミナー
「人工内耳について」 ※要事前申込

新型コロナウイルスの感染状況により、オンライン開催、または中止になることがあります。



12月29日~1月3日はセンター休館です。この期間はお返事ができません。1月4日以降にお返事します。みなさま、よいお年をお迎えください。

ビデオライブラリーのおすすめ

「ろうを生きる難聴を生きる 聞こえないセンパイの課外授業 Vol.2」

社会で活躍している聞こえないセンパイが進学・就職に悩む学生や生徒たちに授業を行うシリーズ。NHKではまだ1人しかいない、聞こえないディレクターである長嶋愛ディレクター。通訳を使って仕事をするなどの工夫をろう学校の子どもたちに伝えます。

「ろうを生きる難聴を生きる エンタメパワーで手話を楽しく！～前編～」

手話エンターテイメント発信団oioi(オイオイ)は手話を使ったユニークなパフォーマンスで、楽しみながら手話を覚えるきっかけ作りを提供しています。「大人になるまで手話ができなかったが、oioiに入ったことで自分に自信が持てるようになり人生が変わった」という聞こえないメンバーも。楽しく手話を伝えるoioiの魅力伝えます。

頑張っています 手話通訳・要約筆記者登録者

実施済

- ・手話通訳者研修「対人援助」 11/5
- ・登録者合同研修 12/17
- ・要約筆記者実践研修 12/20

- ・手話通訳者研修「コミュニティ通訳者の役割」 2/18
 - ・継続登録者説明会 特別講演会(調整中)
- ※ 盲ろう者手引き研修はオンライン配信で行います

事業状況

		手話通訳		要約筆記		ライブラリー	
		個人	講演	個人	講演	利用者数	貸出数
10月	派遣数	216件	22件	17件	6件	8人	39本
	派遣人数	224人	50人	26人	22人	新規登録者：0人	
11月	派遣数	218件	24件	18件	10件	25人	41本
	派遣人数	223人	50人	34人	29人	新規登録者：3人	

ご協力ありがとうございました

